

家庭・地域・学校が手をつないで子どもを育む南地区

福井市清水南小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

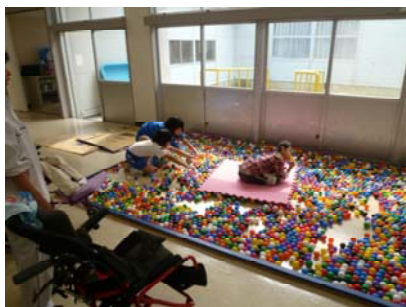
項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	12回

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	5.7人
授業ボランティア(含:低ボラ)	12.0人
登下校支援ボランティア	0人
その他())
	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」



① 親子体育大会

本校では毎年、校内体育大会を「親子体育大会」と銘打って実施している。PTAの生涯教育委員会が中心になり、各学年で親子で行う競技を取り入れている。保護者が100%参加可能になるように土曜日に実施している。各町内ごとにテントも準備されており、各町内のテントからは大きな声援があがり、家庭、学校が一体となって大いに盛り上がる大会になっている。

② 清水養護学校との交流(5年生)

毎年5年生は、近くの清水養護学校との交流活動を行っている。交流会は2回行っている。10月には清水養護学校に出かけ歓迎を受けた。11月には本校に来てもらい、児童が考えた出し物やゲーム等で交流会を持つことができた。清水養護学校には、知的障害の方と肢体不自由の方がおられ、障害の重い方が多いが、児童は優しい気持ちで接することができていた。

③ 南っ子チャレンジ教室

地域の方や保護者の方をゲストティーチャーにお迎えして、ペットボトルロケット作り、バルーンアート、お菓子作り、プラ板アート、棒パン作りなど、6会場に分かれて親子体験教室を実施している。PTAが中心になり、内容の検討や準備物の調達、ゲストティーチャーの選定までを行い、どの会場も親子が楽しくふれあいながら充実した活動が行われていた。児童だけの参加がないということがすばらしい。

2 成果と課題

(1) 成果について

学校だよりや学級通信を活用して授業公開への参加を呼びかけた結果、多くの保護者や地域住民の方の参観を得られた。また、保護者の方から児童のいろいろな活動への支援や協力を得ることができた。校外学習へも数多く出かけることができ、児童にとっては見聞を広めたり、学習への刺激をもらえ、心の教育の機会になった。

(2) 課題および次年度に向けて

小学校においてもキャリア教育の充実が求められるようになってきた。来年度は、今までの活動の中にキャリア教育という視点を加え、学校の教育活動がより一層清水地区との結びつきを深めていくように、教育活動を進めていきたい。